

高校総体が終わりました。運動部のみなさんも、応援のみなさんも、これまでの練習の成果を十分発揮できたでしょうか。部活動や応援団活動で得た経験を、学校生活だけではなく様々な場面で活かしていきましょう。

総体が終わると来週には前期中間考査が始まります。3年次生はその後の週末に進研模試が連続して入ってきます。1・2年次生も7月1日に進研模試が行われます。中間考査や模擬試験はなんとなく受けても意味がありません。しっかり準備をして試験を受けるのは当然ですが、解けなかったところを試験後に確実に補強することが一番大切です。中間考査や模擬試験をステップアップのチャンスととらえましょう。

## 6月の進路関係の行事



	1年次	2年次	3年次
6/1	教育課程説明会	教育課程説明会	授業と課外指導計画について
6/8	「進路の手引き」を使って	「進路の手引き」を使って	進路講演 河合塾 佐々木一幸氏
6/15(14)～6/20 前期中間考査			
6/20～			課外講習（I期）
6/23・24			進研マーク模試
6/27	第1回の模試に向けて	教育実習生を囲んで	「夏季休業中以降の学習計画」作成
6/31・7/1			進研記述模試
7/1	進研記述模試	進研記述模試	

## 「英語外部検定利用入試」とは？

「蛍雪時代 2017 4月臨時増刊号」より

英検・TOEFL・TOEICなどの英語資格を利用できる「英語外部検定利用入試」を実施する大学が、急速に増えています。2017年の推薦・AO入試では全大学の41%にあたる314大学が、一般入試では同じく14%にあたる110大学が利用しており、今後も増加する見込みです。

### ①どのような入試か？

大学によって様々ですが、大きく2つの利用方法があります。1つ目は、大学入試の出願資格とし、出願の最低必要条件として設定する方法です。例えば英検準2級を持っていないければその大学に出願できない、ということになります。2つ目は、大学独自の英語試験の得点に換算するという方法です。例えば、英語試験の点数を、英検2級だと80点、準1級だと100点にみなすという方法です。それ以外にも入試の総合点に点数をプラスするなど、評価に加点するというものもあります。

### ②どの検定を利用できるのか？

大学側の利用率が最も高いのは英検で、その後にTOEICやTOEFL、GTECが続きます。大学入試専用が開発されたTEAPも、昨年より大幅に採用率を伸ばしています。

### ③どのような大学で実施しているのか？

宮城教育大学では、2018年入試から中等教員養成課程英語教育専攻の推薦入試の出願資格として実施します。GTEC CBT、GTEC for STUDENTS Advanced、TOEFL iBT、TOEIC公開テストを利用します。

(英検はありません。)これ以外にも、北海道大や福島大、茨城大、筑波大、千葉大、東京海洋大、横浜国立大などの推薦入試またはAO入試、秋田大、埼玉大、千葉大、東京海洋大などの一般入試、私立では獨協、青学、ICU、上智、津田塾、明治、立教、早稲田などで、一部導入されています。

## 「進路講演会 社会人に学ぶ」より

5月24日の「総合的な学習の時間」では講師としてAFRICA ROSE 代表取締役社長 萩生田 愛 氏をお招きし、社会人講演会を行いました。今春本校を卒業した山田萌結さんが、昨夏、東京の萩生田さんに直接お会いしてお話をすることがきっかけとなり、今回の講演会が開かれる運びとなりました。講演会前日に、萩生田さんから全クラスに大きな薔薇の花束が届けられたこともあり、生徒の皆さんも関心をもって講演会に臨みました。「アフリカの薔薇で実現させる本当に豊かな社会」という演題で、萩生田さん自身の進路に悩んだ経験や、社会人としての経験と決断、発展途上国での支援活動など、生徒の皆さんの目線に合わせたお話をさせていただきました。講演後の質疑応答も、大いに盛り上がりました。以下に、今回の講演会の感想を掲載します。



私は以前、(講演の)最初に流されていたあの映像をテレビで拝見しました。だから、今日、実際に萩生田さんのお話を聴くことができるとてもよかったです。私がテレビを見た時に強く感じたのは、決断力と行動力が素晴らしいということです。働く女性が仕事を辞めるということは並大抵の覚悟ではないと思います。それだけアフリカで人の役に立ちたいという思いが本物だったのだと感じました。「人の役に立つ」というのは言葉で言うのは簡単でも、それを行動に移せるかどうかが大なのだと思います。

ケニアの薔薇を生かしたビジネスは、現地の人にもそして日本人にとっても幸せになれるものなので、この仕事にはきっとたくさんのやりがいがあるのだろうと思いました。私は将来、医療に従事して社会の役に立つ人間になりたいと考えています。私も萩生田さんのように広い視野を持って海外にも貢献できるようになりたいと強く思いました。(3年次普通科)

萩生田さんの話を聞いて全体的に思ったことは、「自分に自信を持って恐れずに積極的に行動しなければ大きな行動を起こすことができない」ということです。自分に自信が持てるくらいたくさん勉強して、いろいろなことを経験することで萩生田さんのようにグローバルな視点で物事を見て、具体的な未来への一歩を踏み出すことができるのではないかと思います。何かを新しく、自分が一番乗りで始めるということは、私にとってはとても勇気があることで、失敗したらどうしようと恐れてしまいます。しかし、その大きな壁を、勇気を出して乗り越えることで、予期していなかった大きな道が開けるのではないかと、萩生田さんのお話を聞き感じました。また、現状に満足せずよりよいものを作ろうとする精神も見習うべき点だなと感じました。(2年次理数科)

大学生の時にアフリカの貧困の状態を知って、安定した生活ではなく、貧困問題解決の方を選んだ萩生田さんの生き方に感動しました。最初は取引先が見つからなくても粘り強くコツコツと広げていったという話を聞いて、努力すれば道は開いていくとわかりました。(中略)日本は豊かなのに、日本人はその豊かさを忘れていているという話が一番印象に残りました。ケニア人は皆、笑顔で堂々と「幸せ」と言えると聞き、日本は恵まれていてもそう言える人が少ないので、それが寂しいと思いました。ケニアの色鮮やかで明るく立派な薔薇はケニア人そのものを表しているようで、本当に素敵だと思います。私はまだやりたいことが見つかっていませんでしたが、今日の萩生田さんのお話を聞き、国際関係の仕事につきたいと思うことができました。まず、調べるところから始め、いつかは私も途上国の手助けをして、誰かの役に立ち、たくさんの笑顔を作りたいと思います。本当にありがとうございます。(1年普通科)